

AOKIグループは、SDGsをはじめとした国内外のイニシアティブや、ステークホルダーからの期待、当社グループとしてのありたい姿などを踏まえ、6つの重要課題(マテリアリティ)とKPI・目標数値を策定し、達成に向けて取り組んでいます。今後も、これらに基づいて事業活動を通じた取り組みをさらに推進し、AOKIグループの中長期的価値を向上させるとともに、社会全体の持続的成長に貢献していきます。

業態開発・イノベーション

商品・サービスを通じた新たな価値の提供を

「人々の喜びを創造する」という事業コンセプトのもと、常に時代の一步先を見つめて新たな業態開発とイノベーションに挑戦し続けてきたAOKIグループ。私たちは、これからもお客様の多様化するニーズや環境問題などの社会課題の解決を視野に、新たな業態・商品・サービスを開発していきます。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
環境配慮型商品の開発・発売件数 累計 50 件	グループ全体 累計 26 件	<ul style="list-style-type: none"> ファッション事業: 地球環境に配慮した「AOKIエコフレンドリー®」商品の展開拡大 エンターテインメント事業: 厨房なし店舗など、環境・省エネに配慮した店舗形態の開発 アニヴェルセル・ブライダル事業: FSC®認証紙を使用したペーパーアイテムの導入

衣料回収プロジェクトから初の商品化「ウールエコシューズ」

1996年にスタートさせた「AOKIウール・エコ・サイクル®」プロジェクトにおいて、初めて商品としてリサイクルした「ウールエコシューズ」は、AOKI店舗で回収したスーツ・礼服を再利用したりサイクル糸を使用し、最終的にシューズのアップパー素材へと生まれ変わっています。

本商品は、スーツや礼服本来の色味を活かしたブラックのアップパーに合わせて、ソールや靴紐もすべてブラックで統一し、ビジネスからカジュアルまで幅広いシーンでお召いただけます。また、撥水加工を施し、透湿防水フィルムや空気循環ソールを採用することで、雨の日でも安心して使用できるよう工夫。加えて、商品企画スタッフが幾度となく試し履きを繰り返して実用性を高めるなど、強度や履き心地にもこだわっています。



厨房をもたない新たな店舗形態の快活CLUB

複合カフェ「快活CLUB」では、新たな形態として厨房をもたない店舗を開発し、2024年7月時点で累計33店舗を出店しています。

厨房をなくすことで、24時間稼働する冷蔵・冷凍庫がなく、電気使用量の削減につながるほか、調理後の廃油や残飯の処理による環境負荷を減らすことができます。また、厨房スペースがないことにより席数が増えるため、お客様の利便性向上にもつながります。

今後も、お客様のニーズにお応えするとともに、環境への負荷を軽減するため、新たな業態開発を進めていきます。



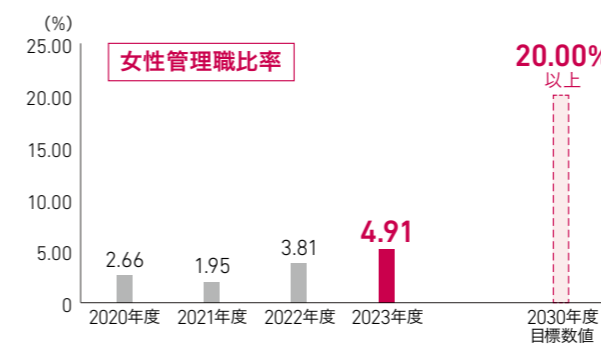
人財 一人ひとりに働きやすさ・やりがい

私たちはAOKIグループらしい商品・サービスを創造していくために、従業員がやりがいを持って輝く環境が大切だと考えています。そのために一人ひとりの異なる個性に注目し、志向や能力に応じたキャリア形成を支援すると同時に、人財の多様性を最大限に活かす風通しの良い組織文化の醸成に努めていきます。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
女性管理職比率 20 %以上 (課長職相当以上)	グループ全体 4.9 %	<ul style="list-style-type: none"> 2030年に向けた「女性活躍推進プラン」の策定 育休復帰者に向けた学習会やオンラインコミュニティなどの支援の強化 ダイバーシティ&インクルージョン学習会の実施
正社員一人当たり教育訓練費 80 千円以上	グループ全正社員平均 1人当たり 63 千円	<ul style="list-style-type: none"> 外部セミナーへの派遣 階層別・目的別研修の拡充 費用補助による公的資格の取得推進
従業員エンゲージメントスコア 65 %以上 <small>※新たなエンゲージメントサーベイシステム導入により2024年6月にKPIを変更</small>	グループ全体の平均 55 %	<ul style="list-style-type: none"> 新たなエンゲージメントサーベイシステムによる調査・分析、報告会の実施 管理職向け研修の実施 経営層と従業員の対話会の開催
ストレスチェック結果 高ストレス率 6.0 %未満	グループ全体の平均 8.2 %	<ul style="list-style-type: none"> 部署別での結果フィードバックおよび長時間労働者や高ストレス者への個別フォロー メンタルヘルス学習会の実施 健康情報の発信

女性管理職比率向上に向けて

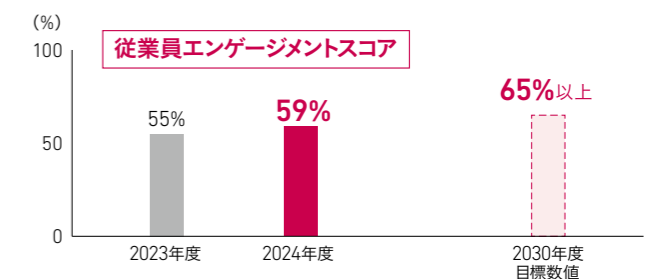
AOKIグループでは、サステナビリティ推進室と人事部が連携し、ダイバーシティ&インクルージョンの一環として女性管理職比率の向上に取り組んでいます。具体的には、外部アドバイザーを招聘しての推進プランの策定や社長と女性社員との対話会による意見の収集、管理職や従業員向けのダイバーシティ&インクルージョン学習会の開催、男性育児休業取得の推進(2023年度のグループ全体取得率62%)などを実施しています。今後も、2030年度の女性管理職比率20%以上の達成を目標として、さまざまな取り組みを推進していきます。



従業員エンゲージメント向上に向けて

2023年に全社で導入した新たなエンゲージメントサーベイの結果、従業員エンゲージメントスコア(5択設問で肯定的な選択肢を選択した人の割合の平均)は、グループ全体で55%でした。その結果から、従業員の多くが経営理念に共感し、会社や仕事に誇りを持っていることが分かりました。一方で、自分のキャリアへの不安や今後の会社の方針について知りたいという声も見受けられました。

そこで現在、キャリア開発やコミュニケーション面の課題解決に向けて、1on1などキャリア支援を含む上司と部下の対話の機会や、経営方針の浸透に向けた従業員向け説明会、経営層とのスモールミーティングなど、さまざまな施策を実施しています。



環境

地球環境に 優しさを

AOKIグループは、お客様の喜びを最大化していくために接客やサービスの質を高めると同時に、省エネ型店舗の導入など、地域社会や地球環境の“喜び”に通じるCO₂削減に積極的に取り組みます。また、お客様が着用しなくなった衣料のリサイクルを実施するなど、お客様、お取引先様とともに環境負荷の低減に取り組んでいきます。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
2017年度比1店舗当たり 50% 削減 (49.5t-CO ₂)	2017年度比1店舗当たり 15.7% 削減 (CO ₂ 排出量83.5t-CO ₂ /店)	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope3の算定・開示 ● ソーラーカーポートの設置 ● LED・エアコンフィルターなど省エネ設備導入による電気使用量の削減 ● オンライン化による紙資源使用量の削減

ソーラーカーポートの設置

脱炭素社会実現に向けたCO₂排出量削減の取り組みとして、トータルエネルギーソリューションを提供する外部企業と連携し、AOKIの3店舗にソーラーカーポートを設置しました。これにより、1店舗当たりの年間電力使用量の約30%分を再生可能エネルギーに代替することが可能になりました。また、晴天時には日除けに、雨天時には雨除けとなることから、駐車場を利用されるお客様の利便性向上にもつながります。



地域社会

地域に 活気と発展を

全国各地に店舗を有するAOKIグループが持続的に成長していくためには、地域社会の活気と発展が欠かせません。AOKIグループは、文化活動の支援やスポーツ振興などに積極的に取り組むと同時に環境保全活動にも注力し、地域社会とともに成長する企業グループを目指しています。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
地域貢献活動の実施 継続実施	AOKIグループ ハーモニーコンサートなど 文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化事業やスポーツ協賛、チャリティー活動の実施 ● 子ども110番や農園支援などの実施 ● フードバンクへ防災備蓄品の寄贈や児童養護施設へスーツの提供

創業65周年記念「第25回AOKIグループハーモニーコンサート」の開催

「公共性の追求」活動の一環として1973年に開催して以来、回数を重ねてきた「AOKIグループハーモニーコンサート」。2023年10月に開催された第25回公演では、約2,000名のお客様を無料でご招待し、東京・赤坂のサントリーホールにて美しい音楽に触れる特別なひとときをご提供しました。また、当日は、子どもの貧困問題に取り組む基金への募金箱を会場内に設置するなど、チャリティー活動の支援も行いました。



第25回AOKIグループハーモニーコンサート(©堀田力丸)

人権

責任ある サプライチェーンを

気候変動・人権問題などグローバルな社会課題解決を進めていくために、AOKIグループは商品の企画開発から調達、製造、販売段階まで、素材メーカーや製造委託先および物流会社などと協働して、サステナビリティを軸とした取り組みに一層注力していきます。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
CSR基準書の締結数 100 工場以上	締結数 101 工場	<ul style="list-style-type: none"> ● AOKIグループ人権方針の策定・公開 ● お取引先様向けアンケートによるCSR監査の実施

人権尊重に向けた取り組み

AOKIグループは、持続可能な社会の実現に向けて、人権尊重の重要性を深く認識しています。2023年に策定した「AOKIグループ人権方針」のもと、バリューチェーン上のすべての人の人権を尊重することを最重要課題のひとつとしています。

ファッション事業のAOKIでは、自らの社会的責任を認識し、組織統治や人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行などISO 26000(社会的責任に関する手引)の7つの中核主題を具体的なCSR活動の枠組みとしています。

2022年に策定した「サプライヤー行動指針」では、お取引先様に対して最低限順守すべき指針を定め、明示しました。この方針のもと、お取引先様が方針に基づいた運営を行っているかを調査票によって監査するとともに、必要に応じて改善を促す仕組みを整えています。2023年度には、101工場とCSR基準書を締結しました。

AOKIは、お取引先様との協働により、サプライチェーン全体の透明性を確保し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指していきます。

ガバナンス

より健全な 経営体制を

AOKIグループは、健全で迅速な意思決定と効率性・透明性を確保するコーポレート・ガバナンスを、企業としての持続的な成長の根幹となる仕組みと位置付けています。そのために絶えざる体制強化に加え、従業員のコンプライアンスへの意識向上に努めています。今後も、株主・投資家の皆様との対話を通じて、意思決定の仕組みや情報開示のレベルアップに取り組んでいきます。

KPIと目標数値(2030年度)	2023年度実績	主な取り組み
コンプライアンス学習会の受講人数 全グループ社員	受講率 58.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員・管理職向けコンプライアンス学習会の開催 ● eラーニングを活用した全社員向けコンプライアンス教育の実施
通報窓口の認知度 100%	認知度 70.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内報などを活用した認知度向上施策の展開

コンプライアンス学習会の開催

2022年に発生したガバナンスに関する事案からの反省を踏まえ、経営トップのコミットメントのもと、ガバナンス強化に向けた取り組みを推進しています。2022年11月に新設したコンプライアンス室が中心となりコンプライアンス学習会を開催し、グループ全役員と管理職が受講を終えました。さらに、eラーニングを活用した全社員向けのコンプライアンス教育を実施しています。今後も、さらなる内部統制・コンプライアンス体制の強化に取り組んでいきます。

